

2026 年度一般選抜 (B 日程) 記述式総合問題 解答例

問題 1

一般会計歳出予算額の推移の各項目をみると、一般歳出については 40 年間大きな変化はなく、地方については年々微増しているものの 40 年間で 2 倍にはなっていない。しかし、国債費と社会保障については、1985 年と 2025 年の値を比較すると、それぞれ約 2.8 倍、3.8 倍に増加している。このことから、主な一般会計歳出増加の原因は国債費と社会保障の増加とすることができる。社会保障費が増加した理由は、日本の 65 歳以上人口が 40 年間で約 3 倍になり、年金や医療費が増加したことが考えられる。国債費が増加した理由は、増え続ける社会保障費に対して、税収はそれほど増加せず、社会保障費の不足額を公債金で賄っているため、その返済と利息の支払いが増えたことにある。このような理由から日本の一般会計歳出は大きく増加した。

(345 文字)

問題 2

1989 年に導入された消費税の税収が急激に増加している。消費税は、1989 年に税率 3% で導入され、その後税率が、1997 年 5%、2014 年 8%、2019 年 10% に上昇し、税収が大きく伸びた。1995 年と 2025 年の税収を比較すると 4.3 倍に増加している。また、消費税は全国民に平等に課せられ、景気変動の影響を受けにくいことから安定して税収を増加させてきたともいえる。

(183 文字)